

## 検討の観点と特色

発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名	発行者名
17 教出	書Ⅱ 703	書道 Ⅱ	教育出版株式会社

項目	観 点	特 色 等
①内容の 選択・程度	<p>*学習指導要領, 教科の目標を達成するために必要な教材</p> <p>*基礎的・基本的事項の理解や習得のための配慮</p>	<p>○漢字の書では、漢字五書体を取り上げ、歴史的評価の定まった古典を基本教材として取り上げている。</p> <p>○仮名の書は、書道Ⅰから学習を発展させる教材を取り上げ、高野切第一種を主教材とした構成となっている。</p>
②組織・配列・ 分量	<p>*学習指導を有効に進めるための組織・配列・分量</p>	<p>○漢字の書は、篆書・隸書・草書・行書・楷書の順に取り上げられていて、書体の歴史的成立過程の理解につながる特色ある編成になっている。</p> <p>○仮名の書は、同じ和歌を寸松庵色紙・関戸本古今集・元永本古今集などで比較して学習できる構成とし、学習の発展につながるよう工夫されている。</p> <p>○漢字仮名交じりの書は、漢字や仮名の古典の学習と関連させた作例を多く取り上げて、学習方法もよく配慮されている。</p> <p>○篆刻・刻字・書道史（日本・中国）の扱いも図版を多く用いることで生徒が理解しやすいものとなっている。</p> <p>○漢字の学習は、古典の図版が見やすく、鮮明な部分を選び、しかも古典ごとに半紙で学習するのに適した集字教材を示すことで、授業で扱いやすい構成となっている。</p>
③表記・表現お よび使用上の 便宜	<p>*学習意欲を高めるための配慮, 用語・記号の取り上げ方および記述の方法</p> <p>*印刷の鮮明度, 活字の大きさ, 行間, 製本など</p>	<p>○教科書巻末の書道史年表、書道史地図は資料写真を多く用いて、授業で活用しやすいものになっている。</p> <p>○全ページカラー化されており、古典教材の再現性が高まり、教材性、鑑賞性が豊かなものとなっている。</p> <p>○鮮明な印刷により古典教材の再現性が高まり、教材性、鑑賞性が豊かなものとなっている。</p> <p>○表紙は、抗菌加工が施され、またコーティングされており墨汁や汚れに強い堅牢なものになっている。また、製本は、あじろ綴じで堅固である。</p>
④総合所見		<p>○漢字の書は五書体を取り扱い、仮名の書は高野切第一種を中心に基本的な教材を取り扱っており教材性、鑑賞性が大変豊かなものとなっている。</p>